

# はにわ通信

No.228 平成 26 (2014) 年 3 月号

遺跡から発掘されたモノほどのように保存されるのかな・・・?



## 【発掘されたモノはどうなるの・・・?】

遺跡から発掘されたモノはその後、どのようにして、保存されているか知っていますか。今回は、「<sup>せつごう</sup>接合」についてお話します。

ほぼ完全な形で発掘されるモノもありますが、ほとんどのモノは長い年月の間、土の中に埋まっていたり、盗掘にあっていたりして、バラバラになっています。これらの破片をジグソーパズルのように組み合わせていくのです。でもふつうのパズルのように、「これが完成図です」という答えはありません。それどころかすべての破片がそろっているともかぎりません。発掘された遺跡の時代を推定し、その時代に見つかっているモノを参考にしながらこんな形になるのでは・・・?と、想像しながら立体ジグソーパズルのように組み立てていきます。どうしても足りない部分<sup>せつごう</sup>は石膏をつかって、できるだけ近い形にし、着色して補います。ひとつひとつの破片をくっつくかどうか確認していく作業は、気が遠くなるほど根気の必要な作業です。完成するまでの期間は、短いもので数日、長いものだと数ヶ月もかかります。「はにわ館」に来られたら、ぜひ土器の接合の努力のあとも見てくださいね。



はじめはバラバラです・・・



合いそうな部分を探して・・・



どうしてもない部分は石膏でうめます。



石膏を着色してやっと完成です。

## 【平成 25 年度の終わりにあたり】

### 春風

しゅんぶう ま ひら えんちゅう  
春風 先づ發く 苑中の梅

おうきょう どうり  
櫻杏 桃梨 次第に開く

せい か ゆ きょう しん そん うち  
薺花 榆莢 深村の裏

また い どう 春風 我が爲に來れりと

はくきょい  
白居易



<春風は、まっさきに庭園の梅の花を咲かせる。(そして) ユスラウメ、アンズ、桃、梨の花がだんだんと咲きそろふ。(一方) おくぶかい山里にあつては、ナズナの花やハルニレの実が(春のおとずれをつける。)(そこでわたしは)これはまあ、春風が自分のために(春をはこんで)きてくれたと言うのである。>

梅まつりのたよりが、あちらこちらからとどく季節になりました。文化財センターがある鈴の森公園の梅林でも、観梅されるみなさんのすがたをみかけることがおおくなりました。

平成 25 年度も今月をのこすのみとなりました。今年度、文化財センターは、縄文巨大迷路、魚とり体験をはじめ、縄文鍋で食べよう、竪穴式住居模型・縄文アングイン編み・石庖丁づくりなどの、古代の生活が体験できるさまざまとりくみをおこないました。おかげさまで順番まちもでるほどの盛況で、すべて終了させていただくことができました。

わたしたちはこれからも、あらたな出会い・発見、そして感動をご来館いただくみなさまが味わっていただけるよう努力してまいりますので、今後ともよろしくお願ひします。

白居易 中唐(766～835)の詩人(所長)



## 文化財センター はにわ館 & ギャラリー 3月の催し物予定

3月の休館日は、3日(月)、10日(月)、17日(月)、24日(月)、31日(月)です。  
開館時間は9時～17時です(入館は16時30分まで)。

【はにわ館】 入館料 100円 (18歳以下無料)

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

第2展示室 ■企画展「立野4号墳 甦る松阪の後期古墳」 2/1(土)～3/23(日)

第3G ■市民講座「立野古墳群発掘調査日誌」

3/8(土)13:30～14:30 聴講無料 事前予約不要 先着60名まで 講師:松阪市文化財センター学芸員

【ギャラリー】 入場無料

第1G ■嬉洋会展 3/11(火)～3/16(日) ※最終日は16:00まで

第2G ■松阪市嬉野公民館サークル 第6回三重裕拙画洋画展 3/11(火)～3/16(日) ※最終日は16:00まで



バーコード読み取り  
(文化財センター情報)